



TITLE:

表紙・目次・平成10年度修士論文
・平成10年度卒業論文・執筆者紹
介

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次・平成10年度修士論文・平成10年度卒業論文・執筆者紹介.
京都大学大学院教育学研究科紀要 1999, 45

ISSUE DATE:

1999-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/57350>

RIGHT:

京都大学大学院 教育学研究科紀要

第45号

幼児の交互交代と「心の理論」の発達
マレーシア華人の民族教育動態と国際関係
専門的秘密と守秘義務
社会学者の立場
フロイトの症例ドラから考える逆転移の問題
和田実における「訓育的誘導論」
ゲオルク・ミッシュにおける「喚起する語り」の概念について
運動の判断における動的情報の効果
パーキンソン病患者のコミュニケーションの困難と理解成立の基盤
幼児の「心の理論」の発達ときょうだい数及び母親の養育態度との関係
子どもの心的状態を読みとる大人の能力の個人差について
なぜ、女性はやさしくこだわるのか？
応諾獲得に固執する際に用いる戦術の順序が受け手に及ぼす効果
日本における英語学習者の読解方略に関する研究
幼児期と児童期における心的活動についての知識の発達
保育の描画実践における「個人レベルの指導論」
課題試行時に同時に呈示された聴覚刺激の影響
気分一致効果の生起要因について
言語産出における音韻的符号化段階とその障害
ブルデュー社会学における「主観主義」と「客観主義」
学歴エリートの出身における地域的要因
戦後における性別職域分離の構造とその変化
現代アメリカにおける学校の自律性確保と教育委員会の機能転換
「ふれあい」体験に関する臨床心理学的一考察
母親における愛着表象と母子関係の研究
防衛のアセスメント
乳幼児の就眠時行動に関する理論的考察
女子友人グループについての理論的考察
青年期後期における身体意識
室内画に表現される内的世界についての一考察
反復についての一考察
青年期の孤独感
自己受容における向上心とあきらめ

京都大学大学院教育学研究科紀要 第45号

目 次

論 文:

幼児の交互交代と「心の理論」の発達	子 安 増 生・服 部 敬 子	1
マレーシア華人の民族教育動態と国際関係	杉 本 均	17
— ジョホール州華語教育の動向を中心に —		
専門的秘密と守秘義務	東 山 紘 久	45
社会学者の立場	保 田 卓	57
— マンハイム, ゲールドナー, ルーマン —		
フロイトの症例ドラから考える逆転移の問題	佐々木 承 玄	67
和田実における「訓育的誘導論」	辛 椿 仙	84
ゲオルク・ミッシュにおける「喚起する語り」の概念について	小 西 憲 臣	97
運動の判断における動的情報の効果	廣 瀬 直 哉	110
パーキンソン病患者のコミュニケーションの困難と理解成立の基盤	木 村 大 生	123
幼児の「心の理論」の発達ときょうだい数及び母親の養育態度との関係		
— 中・日比較調査 —	許 佳 美	136
子どもの心的状態を読みとる大人の能力の個人差について	郷 式 徹	149
— 障害児および1歳児についての記述の分析 —		
なぜ、女性は容姿にこだわるのか?	田 中 久美子	162
— 相互依存性と自己対象化理論から —		
応諾獲得に固執する際に用いる戦術の順序が受け手に及ぼす効果	山 内 加代子	172
日本における英語学習者の読解方略に関する研究	山 向 飛 鳥	185
幼児期と児童期における心的活動についての知識の発達	西 垣 順 子	198
保育の描画実践における「個人レベルの指導論」	平 沼 博 将	211
課題試行時に同時に呈示された聴覚刺激の影響	宮 原 道 子	224
— 文章読解時の無関連言語音効果の検討 —		
気分一致効果の生起要因について	伊 藤 美 加	237
言語産出における音韻の符号化段階とその障害	齊 藤 章 江	250
ブルデュー社会学における「主観主義」と「客観主義」	秦 野 伸 介	263
— 「象徴システム」概念再検討のために —		

学歴エリートの輩出における地域的要因	三 家 所 の	276
—— 大正期における高等学校への進学状況から ——		
戦後における性別職域分離の構造とその変化	真 鍋 倫 子	289
現代アメリカにおける学校の自律性確保と教育委員会の機能転換	山 下 晃 一	302
—— シカゴ学校改革の新たな展開（1995年以降）を通して ——		
「ふれあい」体験に関する臨床心理学的考察	手 塚 真由美	315
母親における愛着表象と母子関係の研究	山 内 いづみ	323
家族表象と家族力動の理解へ向けて		
防衛のアセスメント	壁 屋 康 洋	331
乳幼児の就眠時行動に関する理論的考察	黒 川 嘉 子	342
～狭義の移行対象論から自己調節論へと視点をうつして～		
女子友人グループについての理論的考察	三 好 智 子	353
青年期後期における身体意識	山 崎 玲 奈	362
—— 実証的データを手がかりとして ——		
室内画に表現される内的世界についての一考察	山 森 路 子	373
—— 境界づけられていない空間イメージをめぐる ——		
反復についての一考察	鶴 田 英 也	382
青年期の孤独感	原田（慶澤）華	393
—— 質問紙とTAT物語から見た内的世界の様相 ——		
自己受容における向上心とあきらめ	井 上 光 一	406

平成10年度修士論文

氏 名	論 文 題 目
岩 崎 紀 子	棚橋源太郎の理科教授論に関する研究 —— 構成原理と「実験」の関係を中心にして ——
片 山 勝 茂	『メノン』における想起説とソクラテスの方法
小 原 佳 代	幼児期後期における2者間と3者間の相互交渉 —— 協同描画の生成プロセスを通して ——
田 垣 正 晋	生涯時間軸から見た「障害」経験 —— 身体障害者のライフストーリーより ——
弘 田 陽 介	カントと身体
村 井 尚 子	ファン＝マーネンにおける「生きられた経験」の現象学的探究
和 氣 直 子	H. S. サリヴァンの精神医学改革構想 —— 20世紀前期アメリカにおける学問統合の試み ——
鈴 木 俊 之	第二次世界大戦後のイギリスの宗教教育
井 上 義 和	旧制高校文化における弁論部の地位と役割 —— エリートを啓蒙するエリートたちの盛衰 ——
井 上 好 人	「学校空間と気質・身体」～明治前期の学校管理法と体操の考察から～
遠 藤 正 雄	イメージ化がブライミング効果に及ぼす影響
北 神 慎 司	視覚情報の記銘における言語的符号化の影響
佐 藤 八 寿 子	ミッションと「不敬」 明治2,30年代国民儀礼における「統合／排除」に関する一試論
佐 藤 弥	情動性による刺激意識下の促進について
末 富 芳	教育政策形成過程における意思決定に関する研究 —— 文部省・外務省省庁関係のゲーム論分析 ——
羽 野 ゆ つ 子	アナロジーの拡散的生成における概念化及び一般化の効果
藤 井 佐 和	知的自由と児童書における「差別」 —— アメリカ図書館における児童サービスの原則の確立 ——
Hgidi Knipprath	文化的・社会的再生産におけるトラッキングの果たす役割 ベルギーエノー州の中等学校の事例から
部 宝 文	明治後期における公立小学校教員の身分・地位に関する研究 京都市の公立小学校教員給与を中心として
安 立 奈 歩	攻撃性の体験様式と、自己調節のあり方について
大 谷 真 弓	身体感覚と言語象徴化の関連性 —— 共感覚スケールおよび動作心像テストを用いて ——
岡 本 直 子	ドラマが持つ心理学的意味に関する研究 —— MAPS 人格投影法検査用具を用いて ——
河 本 敏 男	自己同一性における連続性の感覚に関する研究

久 米 禎 子	青年期における「おとな」志向性の一研究 —— 自己形成と友人関係との関連から ——
中 野 祐 子	青年の他者配慮性に関する研究
長 田 陽 一	青年期における「離人」性感覚と対人的関係性
廣 瀬 幸 市	心理学的にみたピーク・パフォーマンスの一考察 ～面接調査における語りを手がかりとして～
本 庄 剛	臨床教育学における「依存」と「独立」の問題 ～野口晴哉の整体指導に見る臨床知～
山 川 裕 樹	思春期の錯覚の領域をめぐる一試論 —— テレビゲームへのかかわりから見た ——
大 森 亜紀子	青年期女性の母親との関係と自己意識 —— 他者との一体化と分離の様相に注目した考察 ——
末 吉 理伊子	青年期女性における解離状態に関する研究
竹 林 奈 奈	青年期における強迫的心性について ～衝動性とそのコントロールを中心に～
山 内 清 郎	「キリスト教界」の逆説的な課題についての問題発見者・提示者としてのキルケゴール——『断片』『復書』を中心に
山 下 融 子	スクールカウンセラーと教師の関係性に関する探索的研究 —— 教師への質問紙調査を中心に ——

(以上34名)

平成10年度卒業論文

氏 名	論 文 題 目
笠 松 成 行	ドイツにおけるトルコ人移民の教育問題
楠 山 研	中国における義務教育の普及過程
園 部 淳	物語としての教育の行方 — ニーチェにみる「大きな物語」の解体とその後 —
田 邊 剛	「レオナルドと哲学者たち」にみるポール・ヴァレリーの言語観
西 田 奈々絵	シラーの美的教育論～美的人間観の認識と陶冶の課題～
吉 澤 幸 晃	イギリスにおける多文化教育の展開
島 谷 木綿子	自由ヴェルドルフ学校における教師教育について
西 上 貴 子	ボルノーにおける危機概念について — 自己発展の可能性としての危機 —
宮 崎 康 子	境界を越える体験 — 「悪」の自覚と成熟 —
大久保 正 見	多文化主義国家における言語教育～シンガポールを中心に～
小 澤 聡	戦後女性労働の日米比較
佐々木 英 司	日本脳性マヒ者協会「青い芝の会」の運動 — 「健全者文明の否定」をめぐる —
赤 沢 早 人	「バイディア計画」におけるカリキュラム論の特質 — M. J. アドラーの所説を中心に —
板 倉 真 史	アメリカのキャリア教育における「インフュージョン」について
上 田 喜 子	授業の組織化における集団思考
竹 田 絵美子	アメリカの社会科における批判的思考の育成
田 高 誠	J. S. ブルーナーによる構造を学習することの意味について
谷 川 とみ子	バングラデシュ農村振興委員会による初等教育プログラムの開発
中 西 一 統	新聞に見る性役割の時代変化 — 朝日新聞家庭面の1951年から1997年まで —
樋 口 太 郎	西郷竹彦の文芸教育理論について
天 根 静 也	コンピュータの利用による学校教育構造の再構築の可能性について
安 念 直 子	箱庭体験過程に関する研究 — 主体-客体の変容に着目して —
石 原 志 信	boundary のあり方と「攻撃」
石 原 宏	PAC分析を応用した箱庭作品へのアプローチ
海 本 理恵子	TAT物語へのかかわり方と「自己性」体験
大 木 ゆかり	精神テンポと「間」の評価 — 漫才を題材として —
大 谷 祥 子	対人的依存性・攻撃性と自己評価の変動との関連について
大 南 崇	「モーツァルト効果」音楽が空間課題に及ぼす影響
小山内 晃	Jung の共時性についての考察 — 共時的現象の捉え方とタイプの関係から —
垣 外 優 子	PFスタディを用いた発話の受けとめ方についての考察

倉 敷 悟	キーボードを用いた入力課題遂行におけるユーザーインターフェースの影響について
小 松 正 明	誘発線の逆説性の検討
杉 江 拓 治	社会的出来事の時間的順序判断
高 橋 悟	TAT課題における自己体験と「自意識」
田 中 秀 紀	情動刺激に対する非言語的表出とその認知
中 筋 一 仁	内向・外向についての一試論——箱庭療法を題材に——
成 相 昭 子	パーソナル・スペースと身体イメージの関係について
平 岡 齊 士	視覚イメージ能力の特性——芸術系学生群・一般学生群の比較——
古 屋 敬 子	社会的枠組みの受けとめ方と内的ワーキング・モデル
堀 順 子	友人づきあいの仕方と諸性格特徴
松 田 陽 子	よい子のつまずき——過剰適応者の対人問題と家族機能の関連について——
和 田 竜 太	青年期における自己受容性について ——両親像及び親密な友人関係との関連から——
森 本 敦 子	対人不安に関する一考察 ——対面コミュニケーションにおける意識及び行動の観点から——
田 中 祥 子	対人恐怖における「眼」のイメージのあり方——母性・父性の対比から——
濱 本 早都子	箱庭表現とその制作過程
福 田 み の り	割合文章題の難しさを規定する要因——問題構造及び下位過程——
岩 脇 千 裕	「若者のコミュニケーション・ネットワークの再編」 ——学生サークルとメディアの変遷を手がかりにして——
太 田 奈津子	大卒理系学生の職業
岸 本 雅 代	家庭内暴力に関する一考察——80年代前半と後半以降との理解の比較より——
榊 原 陽 子	「ダイエット文化」の功罪
新 居 一 樹	コミュニケーション空間としての新聞
廣 田 尚 弘	現代人のアイデンティティに関する社会学的考察～“生き方本”の内容分析～
伏 見 怜 香	劇場における遊びについて ——ホイジンガ・カイヨワ・ジンメル視点から——
堀 越 千 代	女性のキャリアとライフコース
増 田 仁	〈生活—教育〉というパラドックスをめぐって ——家庭科教師の社会学的考察——
最 上 千佳子	テレビが与えた「子供観」への影響について
森 本 美 穂	現代女子大学のユーティリティ
矢 戸 寿 子	在日外国人の学習の現状と課題
渡 辺 暁	《選挙報道に見える現代のテレビと政治》
丸 山 豊	家族間のつながりと地域社会

吉 田 正 純	実践の学習論へ～成人の「自己教育」論における〈主体／教育／人権／実践〉 概念の検討を通して～
岡 本 仁 宏	少年司法における適正手続に関する一考察
近 藤 尚 子	「教育環境権」に関する考察
永 野 愛	ロールズの正義原理についての一考察
前 地 聡 子	日本における教育の後発効果に関する一考察——明治・大正期を中心に——
森 山 奈央子	児童福祉における保育についての一考察——受ける福祉から選ぶ福祉へ——
田 村 理	学校管理規則に関する考察——学校の自主性・自律性の確立をめざして——

(合計67名)

執筆者紹介（執筆順）

子安 増生	本研究科教授（教育認知心理学講座）
服部 敬子	日本学術振興会特別研究員
杉本 均	本研究科助教授（比較教育政策学講座）
東山 紘久	本研究科教授（臨床心理実践学講座）
保田 卓	本研究科助手（教育社会学講座）
佐々木承玄	本研究科助手（心理臨床学講座）
辛 椿仙	博士後期課程2回生（教育学講座）
小西 憲臣	博士後期課程1回生（教育学講座）
廣瀬 直哉	博士後期課程3回生（教育心理学講座）
木村 大生	博士後期課程3回生（教育心理学講座）
許 佳美	博士後期課程2回生（教育心理学講座）
郷式 徹	博士後期課程2回生（教育心理学講座）
田中久美子	博士後期課程2回生（教育心理学講座）
山内加代子	博士後期課程2回生（教育心理学講座）
山向 飛鳥	博士後期課程2回生（教育心理学講座）
西垣 順子	博士後期課程1回生（教育認知心理学講座）
平沼 博将	博士後期課程1回生（教育認知心理学講座）
宮原 道子	博士後期課程2回生（視聴覚教育講座）
伊藤 美加	博士後期課程1回生（教育認知心理学講座）
齊藤 章江	博士後期課程1回生（教育認知心理学講座）
秦野 伸介	博士後期課程3回生（教育社会学講座）
三家 その	博士後期課程2回生（教育社会学講座）
真鍋 倫子	博士後期課程3回生（教育社会学講座）
山下 晃一	博士後期課程3回生（教育行政学講座）
手塚真由美	博士後期課程2回生（臨床人格心理学講座）
山内いづみ	博士後期課程2回生（臨床人格心理学講座）
壁屋 康洋	博士後期課程1回生（心理臨床学講座）
黒川 嘉子	博士後期課程1回生（心理臨床学講座）
三好 智子	博士後期課程1回生（心理臨床学講座）
山崎 玲奈	博士後期課程1回生（心理臨床学講座）
山森 路子	博士後期課程2回生（教育臨床心理学講座）
鶴田 英也	博士後期課程1回生（心理臨床学講座）
原田（慶澤）華	博士後期課程1回生（心理臨床学講座）
井上 光一	博士後期課程1回生（臨床心理実践学講座）

編集委員	川崎良孝	天野正輝	河合俊雄
編集員	越水雄二	加藤聡一	西尾新
	保田卓	本圖愛実	佐々木承玄
	松浦ひろみ		

平成11年3月25日 印刷

平成11年3月31日 発行

発行人 京都大学大学院教育学研究科
代表者 竹内 洋

印刷所 株式会社北斗プリント社
京都市左京区下鴨高木町38-2

発行所 京都大学大学院教育学研究科
京都市左京区吉田本町

Kyoto University Research Studies in Education

No. 45

Contents

Development of Turn-taking Behavior and "Theory of Mind" in Young Children.	KOYASU Masuo & HATTORI Keiko
Educational Demography of Malaysian Chinese and Its Historical Development	
Under the Globalizing Academic Network	SUGIMOTO Hitoshi
Confidentiality, Keeping Secrets & Professional Ethical Code	HIGASHIYAMA Hirohisa
Der Standpunkt der Soziologen	YASUDA Takashi
The Problem of Counter-transference in the Case of Freud's Dora	SASAKI Jogen
Minoru Wada's Theory of "Disciplinary Instruction"	CIN Chunsun
Über den Begriff des "evozierenden Sprechen" bei Georg Misch	KONISHI Norihito
Effects of Dynamic Information on Motion Judgments	HIROSE Naoya
The Difficulties and Bases of Communication with Parkinson Disease Patients	KIMURA Taisei
Development of "Theory of Mind," Number of Siblings,	
and Mothers' Attitudes towards Child Rearing in China and Japan	KYO Yoshimi
Individual Differences of Adults' Ability for Reading Children's Mental States	
	GOUSHIKI Toru
Why Are the Females Stick to Their Own Appearances?	TANAKA Kumiko
The Effect of Sequence of Tactics Used to Persist in Compliance-Gaining.	YAMAUCHI Kayoko
A Study on Reading Strategies in English by Japanese Learners	YAMAMUKAI Asuka
Children's Development of Knowledge about Mental Activities	NISHIGAKI Junko
Personal Teaching Theory of Drawing Practice in Nursery Schools	
	HIRANUMA Hiromasa
Comprehension in the Presence of Unattended Auditory Stimuli	MIYAHARA Michiko
A Moderator of Mood-Congruent Effect	ITOH Mika
Phonological Encoding in Speech Production and Its Breakdown	SAITO Akie
The "Subjectivism" and the "Objectivism" in the Sociology of Pierre Bourdieu	
	HATANNO Shinsuke
Regional Difference in Attaining High Academic Carrier	MIYAKE Sono
Occupational Segregation by Sex in Postwar Japan	MANABE Rinko
The Autonomy of Schools and the Changing Role of the Board of Education	
	YAMASHITA Kouichi
A Study on "Fureai (=Sharing Affective Experiences)" in Clinical Psychology	TEZUKA Mayumi
A Study of Mother's Attachment Representation and Mother-Child Interaction	
	YAMAUCHI Izumi
Assessments of Defenses	KABEYA Yasuhiro
A Theoretical Study on Bed-time Behavior in Infancy	KUROKAWA Yoshiko
A Theoretical Study of Female Informal Groups in Adolescence	MIYOSHI Tomoko
A Study on Body Awareness in the Late Adolescence	YAMAZAKI Reina
A Study of the "Raum Test"	YAMAMORI Michiko
A Study of Repetition	TSURUTA Hideya
Loneliness in Adolescence	HARADA (YOSHIZAWA) Hana
Aspiration and Resignation in the Process of Self-acceptance	INOUE Kouichi

Graduate School of Education

Kyoto University

March, 1999